

かほくワークシート

2014・12・16

河北抄

とつとつ非常にまず
い事態に陥った気がす
る。衆院選で宮城県の
投票率（小選挙区）が
49・23%と、初めて50
%を下回った。

東北では青森県（46
・83%）も初の50%割
れ。2年前の前回衆院
選より7・37%の大
低下で「雪の影響はあ
ったかもしれない」と
県選管は説明する。

会社の役員会にせよ
議事にせよ、何かを決
めるには「定足数」を
満たす必要がある。常
識的には少なくとも過
半数だろう。

もし選挙に当てはめ
れば投票率に相当する
はず。結果の有効性に
影響はないにしても、

棄権が投票より多いの
は危機的状況だ。
公益財団法人・明る
い選挙推進協会の情報
誌『Voters（有
権者）』（20号）によ
ると、最近の投票率低
下は「中高年齢層の低
落」が響いている。

第にしんどくなるのは
避けられない。前回衆
院選と比べると、東北
で最大の下げ幅は7・
44%の秋田。言つまで
もなく高齢化率全国一
の県だ。

低投票率の理由はさ
まざまだだろうが、せめ
て厳しい季節の選挙を
避けてほしい。それが
心優しい政治というも
のだろう。

（2014年12月16日河北新報夕刊）

昨年12月の衆院選の投票率は史上最低でした。雪などの影響による中高年の投票率低下も一因ですが、元気な若者が投票に行けば、ここまで低下しなかったと思います。

①あなたは、今回の選挙に関心がありましたか。○で囲んでください。

- ・ かなりあった
- ・ ちょっとだけあった
- ・ あまりなかった
- ・ まったくなかった

②投票率を上げるにはどのような改善策をとったらよいと思いますか。自由に書いてください。

年 組 名前

（中学生～高校生／朝会前の10～15分）